

平成18年度 吉野作造記念館 事業報告総括表

（期間：平成18年4月1日～平成19年3月31日） ※金額は税抜きです。
 ※実施状況（○：実施・決算済み ▲：開催途中 ×：未実施 通年：通年事業）

実施報告

■頭彫型の事業	実施状況	実施時期等	実質 人数	実施報告	会計額	一般財源 配分 コード	決算計(実績)
1 企画展事業 「吉野作造と日本国憲法」	○	3月18日～	77名	企画展の入館者について 平成19年3月18日～3月31日まで(77名)、平成19年4月1日～5月3日まで(433名)、合計510名。 内容 第一部では、自由民権期から大正デモクラシーにかけての民衆の動きについて宮城県を中心に紹介。第二部では吉野作造の明治文化研究における功績と、吉野の研究方法を受け継いだ鈴木安蔵を取り上げ、日本国憲法制定に果たした役割を紹介した。	421,296	0	421,296
2 吉野作造研究論文 公募事業・準備活動	○	1月～ (準備活動)	-	打合せ回数：4回 募集する論文内容や募集時期等を検討し、次年度の公募に向け、準備をした。	77,050	0	77,050
3 館長講座 吉野作造講座	○	①8月26日 ②9月9日 ③9月30日 ④10月7日 ⑤10月14日 ⑥10月28日	申込者数 (42名) 参加者数 ①32名 ②21名 ③24名 ④18名 ⑤21名 ⑥20名 延～136名	講座名： 日本国憲法公布60年、民本主義を唱えて90年、中央公論120年 講師：田中昌亮(館長) 受講料：1200円(①～⑥含む) 時間：10時～12時	40,715	22,800	63,515
4 資料収集	○	①12月9日 ②12月16日	①25名 ②33名	時間：10時～12時 受講料：500円(①②含む) ①講師：後藤一蔵氏 内容：「大正期における青年組織の諸相」 ～ 大正デモクラシーのかかわりにあわせて～ ②講師：田中昌亮(館長) 内容：昭和初期の農民運動 吉野作造、赤松克麿、袖井順、師義三、大友為三郎を中心として	38,953	9,600	48,553
5 資料永久保存化事業 (※資料登録・検索掲載 事業と連動)	○	通年	-	吉野作造に関する資料の収集。 資料収集事業の中で、吉野家より寄贈された資料を展示した。	392,688	0	392,688
6 資料登録・検索掲載事業	○	通年	-	「資料登録・検索掲載事業」と連動。 登録が終了後、データ化する。 3月中に、音・映像資料の変換作業をしました。	354,860	0	354,860
7 常設展示内容の見直し (大崎市と連携)	通年	通年	-	検索システム登録資料の登録内容と資料の現物を校正。 (※3月31日現在の検索システム登録状況：2,130件が登録済み。)	129,700	0	129,700
(A)・・・合計	-	-	271	展示内容の見直しについて、佐々木理事長、佐々木副理事長、田中館長にて検討し、問題点を列挙。	1,455,262	32,400	1,487,662

平成18年度 吉野作造記念館 事業報告総括表

■発信型の事業		実施状況	実施時期	実質人数	実施報告	会計額	一般上り債区分 コード	決算計(実績)
1	記念館だより発行	○	-	0	発行部数:50,000部(45,000部は大崎市内在戸配布)、体裁:A4サイズ2色刷り	523,600	0	523,600
2	GWイベント	○	5月3日 ～5日	785名	GW期間中に子供たちを対象とし、イベントを開催した。 内容:作ってみよう、みんなであそぼう、アニメ上映、休憩コーナー。	63,889	0	63,889
	記念館で夏休み	○	8月5日	175名	夏休み期間中に、子供向け及び一般向けの事業を開催した。 内容:七夕飾り作成、工作教室、紙芝居、映画でみる昭和、きゅうけいコーナー。	104,177	0	104,177
2	広報事業	通年	通年	0	吉野作造記念館をPRするための活動として下記の活動を行った。 ①ペンフレット(割引券付き)の配布 ②物品販売のチラシ作成・配布 ③貸室のチラシ作成・配布 ④ホームページ	0	0	0
	広報活動							
3	中学生招館事業	○	4月～	20名	大崎市より共催の協力を頂いた。 中学生に宛て、チラシなどを使用し分かり易い説明や資料を検討。	20,000	0	20,000
4	吉野賞受賞者講演会 (長谷川毅氏)	○	2月14日	73名	講師:長谷川毅氏 演題:太平洋戦争における日本降伏と国体の定義 時間:18時～ 料金:聴講無料	570,690	0	570,690
5	吉野賞受賞者の著書 受賞経過資料の展示事業	○	6月～	-	今年度の読売・吉野作造賞受賞者である長谷川毅先生を紹介する資料を作成し、館内にて展示。また、カセットテープ及びVHSテープで保存している資料を、CD・DVDに変換した。	7,180	0	7,180
6	吉野ネットワーク交流会	○	通年	-	読売・吉野作造賞授与式に出席するため東京へ出張し、今年度の受賞者である長谷川先生に挨拶をしました。また、過去の受賞者である阿川先生や猪木先生と、お話しする機会があり、今後のネットワーク作りを継続する良い機会となった。	177,525	0	177,525
7	記念館友の会事業	○	8月～	-	友の会の種類としては、「個人」「企業」「子供」友の会を検討。特典としては、各種割引サービスや広報物の配布を検討した。	0	0	0
8	猪木武徳氏講演会 (※新規事業)	○	1月27日	88名	講師:猪木武徳氏 演題:戦後日本のドラマシー - その試練と課題 - 時間:15時30分～ 料金:無料	365,168	0	365,168
9	井上ひさし氏講演会 (※新規事業)	○	39,145	176名	内容:井上ひさしの吉野講座⑩ 共催:大崎市教育委員会、吉野作造記念館(主管) 吉野先生を記念する会	146,381	0	146,381
(B)・・・合計				1,317		1,978,610	0	1,978,610

平成18年度 吉野作造記念館 事業報告総括表

■記念館活用型事業	実施状況	実施時期	実質 人数	実施報告	会計額	一般より配分 コード	決算計(実績)
1 ラウンジ活用事業	▲	10月～	-	休憩ラウンジの施設状況を写真や図面で確認した。 また、活用するにあたり、出入口の状況やカウンターの落書きなど、修繕箇所がある。 今現在は活用方法について、地域の関係者(会田征子さん、福沼地区区長)と検討をした。	0	0	0
2 オビニオンホール事業	▲	8月～	-	今年度は事業の準備期間とし、吉野作造の業績・偉業等を誰にでも分かり易く紹介するための小冊子作成に着手した。	0	0	0
3 読売吉野作造賞 表彰式招致事業	通年				0	0	0
(C)・・・合計	-	-	0		3,433,872	32,400	3,466,272
(D)・・・総計 (D)=(A)+(B)+(C)	-	-	1,588				